

©HBC



～あぐり王国北海道NEXT「今金町・軟白長ネギ編」を放送～
※詳細はP 6をご参照ください

!Topics! トピックス!

p1 JA 今金町 総会開催報告

p3 金原・鈴金HS協議会活動報告



JA今金町公式YouTube チャンネル登録・高評価お願い致します！

第55回通常総会開催

理事会報告

第4回理事会（令和5年4月6日）

◆報告事項

- 農業委員会総会報告について
- ALM委員会の報告について
- ゴールデンウイーク期間の営業日程について
- 監事報酬の配分について
- 令和5年度種子馬鈴薯面積配分について
- 理事者への貸付実行報告について
- 理事者への貸付実行報告について
- J A バンク経営戦略シートについて

◆議決事項

- 議案第1号 行政庁提出業務報告書について
- 議案第2号 理事報酬の配分について
- 議案第3号 貸付金の利率の最高限度について
- 議案第4号 一組合員に対する信用供与等の最高限度額について
- 議案第5号 同一人に対する信用供与等の最高限度額について
- 議案第6号 組合員以外の者に対する信用供与等の最高限度額について

◆協議事項

- 議案第7号 5千万円超の信用供与等の承認について
- 議案第8号 余裕金運用規程の変更について
- 議案第9号 余裕金の運用の方針及び運用方法について
- 議案第10号 役員責任賠償保険契約の締結について
- 議案第11号 檜山北部広域農業協同組合連合会の役員の推薦について

◆協議事項

1. 第55回通常総会の意見・要望について

◆議決事項

- 議案第1号 各委員の選任について



4月4日、今金町民センターにおいて第55回通常総会を開催致しました。

新型コロナウィルスの対策として昨年に引き続き開会時間を午後からとし、短縮日程とはなりましたが、多数のご来賓に出席を頂くなどコロナ禍前に近い形での総会となりました。

本総会では事業報告、剰余金処分案、事業計画、第13次中期経営計画など6つの議案が上程され、すべての議案が可決されました。第13次中期経営計画は令和5年～令和7年の3年間の中長期的A経営基盤を確立・強化していく為には、出資金の安定を始めとした取り組みが必要です。あ

JAグループ北海道と共に「力強い農業の実現」と「豊かな魅力ある農村づくり」の実現に向け、本年度も事業展開して参りますので、組合員皆様のなお一層の事業への結集とご協力を宜しくお願い申し上げます。



山崎仁理事の退任について

永年にわたり、農事事業運営に尽力頂きましたことを衷心より感謝申し上げます。

第4回理事会終了後、山崎仁理事より辞表が提出されました。

JA広報いまかね NO.563 | 1

令和4年度 優良耕作者の皆さまをご紹介します！

各生産部会では、収量・品質などに特に優れた生産者の方々を「優良耕作者」として表彰されています。日々研鑽され、それぞれの農畜産物の振興に尽力されている事に心より敬意を表します。

各部会の優良耕作者・成績優秀者の皆さまです。（敬称略）

【今金町稲作部会】

- 〈5ha 未満の部〉 田畠 大郁
- 〈5～10ha 未満の部〉 町河 瞳理
- 〈10ha 以上の部〉 鶩野 幸代

【今金町種子馬鈴薯委員会】

- 嶋 智也

【今金町酪農部会】

- 〈全量良質乳出荷達成記念表彰〉
- 出口 晋也牧場 幅口 博隆牧場
- 山本 光也牧場 菊地 章太牧場

- 〈牛群平均乳量1万キロ達成記念牧場〉
- 湯元 宏牧場 山崎 良介牧場
- 本塚 晴看牧場

【今金町畑作部会】

- 〈秋馬鈴薯の部〉 中野 勝広
- 〈甜菜・移植の部〉 矢野 健治
- 〈甜菜・直播の部〉 大場 誠一
- 〈白大豆の部〉 中野 孝之
- 〈黒大豆の部〉 村瀬 真由美
- 〈大納言の部〉 田畠 大郁
- 〈普通小豆の部〉 矢野 健治

【檜山北部広域大根部会】

- 〈100a 未満の部〉 河田 孝幸
- 〈100a 以上の部〉 飼取 勇

【檜山北部広域人参部会】

- 大谷 和明

令和5年総会表彰「正組合員出資金全額譲渡者」をご紹介いたします



鈴金地区 菊地 千春 さん

経営移譲にともない、菊地千春さんが後継者の菊地章太さんへ全額譲渡され、小田島組合長、仁木専務、大場常務よりご自宅で感謝状と記念品が手渡されました。

永年にわたり農協事業に参画いただき、また、次世代に繋ぐ全額譲渡を頂いたことに衷心より感謝いたします。今後ともさらなるご活躍をご祈念申し上げます。

金原・鈴金HS農業推進協議会 活動報告 ～普及センター重点普及活動の取り組み～

※HS : HereSustainable (ここで持続的に) の略

①重点普及活動について

檜山農業改良普及センター檜山北部支所では、地域の農業技術や経営における課題に対して解決に取り組む重点普及活動を行い、そのモデル地区として、令和3年より金原・鈴金両地区で様々な試験を行っております。

地域における課題

- ・労働力不足や後継者不足への対応
- ・水稻作付面積確保のため省力化技術
- ・大豆の高位安定化技術確立
- ・ミニトマトの省力化と增收技術の導入
- ・肉牛の素牛資質向上による収益の安定化



普及センターの活動

- ・地域協議会組織による地域営農維持
- ・所得確保に向けた生産性向上

キャッチフレーズ

「想いを一つに、挑戦！」

踏み出そう新たな一步を！」

②活動の主な成果

・地域協議会組織による地域営農維持

ほ場図を見ながら、農地利用の意見交換や、現地研修会、役員会で課題解決に向けて取り組んでいる試験展示ほの情報共有を行いました。個別巡回などを通じた話し合いの推進で、地域課題解決への関心が高りました。



農地利用意見交換



役員会

将来的な作付面積増加に向け、省力化や収量・品質向上の関心が高まった！

・肉牛の素牛飼養管理改善事例

素牛の栄養状態が改善！

課題	課題に対する提案事項	取組結果
・離乳時腹胸比1.2以上 (市場評価が上がる)	・良質粗飼料の確保・給与 ・飼料メニュー(濃厚飼料)の変更	・腹胸比の改善(1.12→1.21) ・市場価格に反映(向上)
・子牛の貧血予防	・鉄製剤、ビタミン剤の適正投与	・子牛出生時処置技術の定着
・粗飼料品質の向上 (草地の植生維持)	・優良草地の維持造成(適正施肥管理) ・牧草高刈りの推進	・粗飼料品質に対する理解の醸成

素牛の資質向上による市場販売価格の安定化と繁殖牛群の改良に向け、飼養管理改善を個別に提案。発育調査で判明した問題点と市場販売価格を提示し、飼料給餌メニューの変更を提案した結果、2戸で素牛の栄養状態が改善しました。

これらの他にも、「水稻直播栽培の安定生産(品種検討・施肥改善)」や「大豆の高位安定化技術の確立(早期播種・施肥改善)」、「ミニトマトの安定生産(省力・增收技術)」などについて試験を行っております。正組合員の皆様には、本号と共に別紙資料をお配りしておりますのでご参照ください。



早出し馬鈴薯播種風景（芳賀さん圃場にて）



規格について生産者と農協職員が意見を交わしました



豊穫祈願祭にて（今金八幡宮）



宮北誠市さんのハウスにて

早出し馬鈴薯 播種始まる

4月3日、町内でトップをきつて、今金町早出し馬鈴薯振興会会長の芳賀健太さんが早出し馬鈴薯の播種を行いました。

本年は降雪量が少なく、好天にも恵まれ例年よりも早い播種作業の開始となりました。

播種は4月中旬以降に本格化し、7月下旬に収穫を迎えます。

「今金男しゃく」のブランドは昭和30年から始まり、先人達の様々苦労のもと、G-I登録（令和元年登録）されるまで成長してきました。さらなるブランド力の強化に向け、引き続き、組合員皆様ご協力をお願いいたします。

アスパラ出荷 始まりました

4月3日、今金町アスパラ生産組合（会長 小池弦徒さん）が目揃え会を実施しました。

目揃え会はJA今金町野菜集荷施設で行われ、規格や品質基準について改めて生産者同士で意見を交わし確認が行われました。

また、販売先からの声や、販売課担当者からの情報提供も行われました。

J A今金町では、今金町役場と連携し、ふるさと納税への出品や、JA今金町のオンラインストアでの販売など、新たな販路開拓を行っております。

豊穫祈願祭を行いました ～本年の豊穫を祈願～

4月6日、農協役員、各部部長が参列のもと今金八幡宮にて豊穫祈願祭が執り行われ、凜とした厳かな空気に満ちた中、玉串が奉ほうん奠まされました。

本年は降雪量も少なく、3月中旬以降の好天の恵まれ、例年よりも早い雪解けの中、春作業のスターとなりました。

豊穫祈願祭は毎年4月に行われており、本年も豊作と、組合員やご家族の皆様が無事農作業を終えることができるよう祈願いたしました。

畑播き始まりました ～豊穫の秋に向け～

4月中旬に町内で水稻の畑播きが本格的に始まりました。

本年度の畑播きのトップバッターは田代地区の宮北誠市さんで、4月9日に始まりました。

5月中旬以降、田植えが本格的に始まります。昨年は大雨による被害もありましたが収量は多く豊作基調でありました。例年6月頃には「やませ」による初期生育の不良等も見られることから、健苗育成と適期移植を行うことが重要となります。本年も豊穫の秋を迎えるため、水管理の徹底など基本技術の励行をお願いいたします。

今金町農林振興課よりお知らせです

今金町鳥獣被害防止対策事業についてのお知らせ

近年、ヒグマ・エゾシカの農地への出没が急増し、農業被害発生の危険性が高まっていることから、今金町では自助努力によりヒグマ・エゾシカの農地への侵入を防止するための電気柵、発光機具、大音量等発生機具導入を支援しております。

○受付期間

令和5年9月29日（金）まで

※ただし、土日祝日は除く

○対象設備

- ア：農地への侵入を防止するために敷設する感電式の防護柵、および設備稼働に至るまでに必要な通電装置・発電装置・危険表示板等の部品
- イ：威嚇に供する発光機具、大音量等発生機具、および設備稼働に至るまでに必要な発電装置等の部品

○支援措置

- ・設備購入に要した費用の **30%以内補助**

※なお、JA今金町から15%相当を負担いただいております。

- ・補助金上限 **1人30万円**

※購入前には**必ず農林振興課に相談**願います。

お問合せ：今金町農林振興課（82-0111）

担当：中里・藤井・若林



J A 今金町生産資材課でも 鳥獣害対策機具の販売をしております。

近年、熊・鹿等の動物による被害が多発しております。豊穣の秋を迎えるためにも被害が心配な方は購入をご検討ください。

J A 今金町生産資材課では、獣用心棒・ソーラーパネル・バッテリーの3点セット等を特別価格で販売しております。

鳥獣害対策機具についてのお問い合わせは生産資材課（82-1768）までお問い合わせください。



※激光Aは3点セットに含まれておません



← 発光機具・大音量発生機具の試験動画を
ご視聴頂けます

あぐり王国北海道NEXT

～今金町産軟白長ネギをPR～

©HBC



4月29日に、あぐり王国北海道NEXTで「今金町・軟白長ネギ編」が放送されました。

番組内では、今金町軟白長ネギ振興会の牧野司会長が出演され、今金町産の軟白長ネギの品質へのこだわりや、栽培における苦労などを語って頂きました。また、JA今金町野菜集荷施設にも訪

れ、当農協販売課の南職員が、市場での評価や、集荷時の品質検査などについて説明を行いました。

放送終了後、牧野会長から「今金町産の軟白長ネギを少しでも多くの人に知つてもらい、消費の拡大につながつてもらいたいです。」と胸中を語って頂きました。

番組内では、今金町軟白長ネギ振興会の牧野司会長が出演され、今金町産の軟白長ネギの品質へのこだわりや、栽培における苦労などを語って頂きました。また、JA今金町野菜集荷施設にも訪

©HBC



～会場の様子～



～賞状を受け取る土橋部長～



青年部 Now!!

北海道農協青年部協議会総会が開催されました

4月4日に北海道農協青年部協議会第72回定期総会が札幌にて開催されました。

総会の開会にあたり、令和4年度全道手作り看板等コンクールの表彰式が行われ、JA今金町青年部が令和4年に応募した作品が最優秀賞を受賞いたしました。

総会では、令和4年度事業報告・令和5年度事業計画などが可決されました。北海道農協青年部協議会では、農業を取り巻く環境は厳しいものがありますが、青年部だからこそできる柔軟な行動力をもって活動を行い、北海道農業がより明るい方へ向かえる様に事業運営にあたつ正在との事です。

※全道手作り看板コンクール受賞作品に関して、JA今金町広報誌令和5年新春号、もしくは令和5年3月号をご覧ください。

対象品目生産者の皆様へ

雑穀・野菜の施設利用料の設定について

持続可能なJA経営基盤の確立・強化にむけた取り組みとして、雑穀・野菜の施設利用料の設定を新たに行いました。(令和5年3月15日第3回理事会にて承認)

内容は下記の通りとなりますので、組合員皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

1. 施設利用料単価 4円/kg(税別)

2. 徴収方法 出荷数量(kg)に4円を乗算し施設利用料を算出する。
その金額に消費税を乗算し、精算時に控除する。
なお、小数点以下は切り捨てとする。

3. 徴収時期 令和5年5月1日以降に出荷された対象品目

4. 対象品目 雜穀及び野菜類の中で、施設(倉庫等)を利用するもの

※対象品目は、「大豆・小豆・小かぶ・軟白長ネギ・生椎茸・ミニトマト・グリーンアスパラ・その他(注1)」を対象とする。

対象品目及び施設利用料単価については、毎年実施している営農懇談会の資料「農産物の取扱について」で周知する。

(注1)令和4年のその他品目は、玉葱・にんにく・苺・蕎麦・牛蒡・大麦・山菜・黄耆

5. 問合せ先 JA今金町 営農部販売課 ☎0137-82-0142

「組合員の営農を継続するための生産基盤強化」「持続可能なJA経営基盤の確立・強化」にむけて、販売事業では第13次中期経営計画(令和5~7年)において4つの基本目標を掲げています。

販売事業 基本目標

- ①農産物生産過程の分業化に向けた取組
- ②農産物集出荷販売に係る手数料の見直しと新設
- ③生産者手取り確保に向けた道外農産物輸送経費の圧縮
- ④既存の販売・精算及び集荷方法の見直し

『野菜集出荷』の場所が変更となりました



阪神米穀株式会社

田中覺会長のご冥福を心よりお祈り申し上げます



お別れの会
(写真左より外崎町長、上野代表監事、小田島組合長)

阪神米穀株式会社会長の田中覺氏が去る令和五年三月一日ご逝去されました。四月十三日にはお別れの会がしめやかに執り行われ、故人を偲びました。

阪神米穀株式会社は兵庫県西宮市にて昭和二十六年に設立。故人は代表取締役就任後、最新鋭の技術を導入した精米工場を竣工され、「良質で安全・安心のお米」を届けるということを使命として社会の発展に邁進されてきました。また、西宮商工会議所副会頭、西宮神社総代をはじめ要職を歴任され、地域産業の振興にも尽力されました。

J A今金町では「S i光有機農法」での米作りをきっかけとして、十年以上にわたり今金町のお米を販売させて頂くとともに、毎年、西宮神社へ今金町のお米などを奉納させて頂いております。

生前のご功績を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

【略歴】
昭和10年1月 兵庫県西宮市にて出生
昭和32年3月 関西学院大学 商学部 卒業
昭和41年4月 阪神米穀株式会社 入社
昭和56年5月 阪神米穀株式会社 取締役就任
平成元年3月 阪神米穀株式会社 専務取締役 社長代行 就任
平成3年8月 阪神米穀株式会社 代表取締役社長 就任
8月 阪神倉庫株式会社 代表取締役社長 就任
平成22年6月 阪神米穀株式会社 会長 就任

【栄誉】
旭日双光章受章、西宮市民文化賞受賞 他多数

「禍福は一つ」

禍福は一つである。それがあるいは福となり、あるいは禍となる。これを水田にたとえよう。

あ、ぜがあれば、土壤が肥えて苗がよく育ち、収穫が多い。これが福ではないか。あぜがなければ、土壤は荒れて、苗はやせ、収穫が少ない。

これは禍ではないか。同じ土壤であって、あぜがあれば福となり、あぜがなければ禍となる。

わが法も同様で、分度があぜなのだ。分度が立てば、恩澤が多くの人々に及び、その福はきわまりない。分度が立たなければ、害が多くの人々に及び、その禍はきわまりない。

富は、人がほしがるものだ。けれども、人のために求めれば福を招き、おのれのために集めれば禍を招く。理に従い、道を得る者は福を得るし、理に逆らい、道を失う者は禍を得る。禍福は要するに地に従うか逆らうか、道を得るか失うかにかかっているのであって、決して二つ別々のものではない。

（二宮先生語録より）

全国に向けて今金町の产品をお届けします
いまかね店
A-coop ONLINE STORE
QRコード
A コープ いまかね店
オンラインストア

ほこほこ大地
パート募集しています

勤務期間…7月上旬～10月下旬
勤務時間…午前8時～午後5時まで
(野菜出荷量により変動します)
給与…1時間920円～
休日…毎週日曜日
業務内容…野菜の選別作業
その他…新人のみ面接
(6月上旬を予定)
申込先…Aコープいまかね店
広域連事務所又は郵送
申込期日…5月26日(金)
お問い合わせは 82-3346 迄
お気軽に電話ください！

今月の二宮先生



協同組合の先駆者である二宮尊徳が残した言葉の数々を紹介します。

先人の言葉には時代が変わっても普遍的な学びがあるのではないでしょうか。
皆様の心と生活がより豊かなものになるヒントになれば幸いです。

2023年

今金男しゃく オーナー制度

産地
応援

主催：JA今金町・今金男しゃく道民サポートーズクラブ

MAKANE

オーナー特典

* “今金男しゃく”
特典① “限定ポテトチップス”
など、

ここでしか手に入らない
特別な10点セットを
秋にお届けします

特典② 抽選で
「今金男しゃくフォーラム
& スープカレーパーティー」
にご招待

※2023年11月ごろ札幌市にて開催予定。
※抽選にてご招待となりますのでご了承ください。

今金男しゃくオーナー制度が目指すもの

JA今金町では60年以上にわたり、ジャガイモのトップブランド「今金男しゃく」を生産・販売しています。令和3年6月、産地からの情報発信・地産地消の促進を目的として「今金男しゃく道民サポートーズクラブ」を設立。「もっと今金男しゃく食べて欲しい、今金町を知って欲しい」という想いでオーナー制度を開始しました。

全国的に農業者人口が減少するなか、国産ジャガイモの生産量も減少してきています。今金町においても高齢化や農業者の減少が進んでおり、地域を支えてきた農業者の皆さんが「今金男しゃく」の生産をはじめ持続的に安心して農業を行い食料の生産を続けていくには、その為の仕組みが必要です。JA今金町ではその一環として、この制度を通じて産地を知り地産地消に繋げ、農村が持続していく好循環の一助にしたいと考えています。

また、場所や人数が限定的とはなりますが、オーナーの皆様との交流の場も札幌市で開催予定です。ただ単に「商品を販売する」という事ではなく、一緒に今金町を、今金男しゃくを盛り上げて欲しいという想いを「オーナー制度」という言葉に込めています。

>> 一口につき、この10点をセットにしてお届けします <<



参加料（税込・送料込）

限定 800 口

- ・道内発送 一口 6,500 円 ※参加料は2023年
・道外発送 一口 7,000 円 単年の金額です。



詳しくは JA 今金町ホームページの
オーナー制度紹介ページを御覧ください。